

那須の歴史  
再発見!

# 那須町の 地域文化遺産

vol.13



那須温泉神社

今回から、那須町の寺社と文化財について12回にわたり紹介します。

最初は那須温泉神社を取りあげます。那須温泉神社は、延長5年(927)にまとめられた全国の「官社」に指定された神社の一覧表である「延喜式神名帳」にその名が記されるなど、古くから那須にある古社です。『平家物語』では、那須与一宗隆が「屋島の戦い」で扇的を射る際、「南無八幡大菩薩、別しては我が国の神明、日光権現、宇都宮、那須の湯泉大明神、願はくはあの扇の真ん中に射さ

せてたばせ給へ」と唱えます。ここに登場する「那須の湯泉大明神」が那須温泉神社のことです。

那須温泉神社には、さまざまな宝物が伝わっており、那須与一が奉納したと伝わる墓目・鎗矢などは、松尾芭蕉も『おくのほそ道』の行程において那須湯本を訪れた際に見学しています。また『三十六歌仙板額管共』は、町指定文化財であり、戦国期の那須家の当主・那須資晴が寄進したもので、絵は京都の絵師が手掛け、慶長15年(1610)

に同社へ寄進されました。また板額は黒羽藩主・大関増栄が延宝6年(1678)に寄進した筈に収められ、これも町指定文化財となっています。境内には昭和天皇が初めて那須を訪れた大正12年(1923)に、神社で植えられた松が本殿脇にあります。また、本殿下の参道左側には松尾芭蕉の句碑「湯をむすぶ誓も同

じ石清水」があり、これは幕臣・国学者で塙保己一の『群書類従』の編刊に携わった屋代弘賢(1758-1841)の書と伝わります。また那須町出身で、宮沢賢治の主治医として作品にも登場し、賢治顕彰に貢献した医師・佐藤隆房(1890-1981)の句碑「新涼や山彦をきき又呼びし」もありますが、説明版が無く存在が忘れられています。他にも一の鳥居の扁額は竹下登元首相によるものと隠れスポットが存在します。

那須温泉神社には那須湯本の歴史や文化が多く詰まっております。それを体現する場所と言えることが出来るでしょう。



佐藤隆房句碑

▼問合せ 那須歴史探訪館

☎74・7007

## 那須歴史探訪館

■申込み・問合せ  
那須歴史探訪館 ☎74-7007

特別展「那須御用邸100周年記念 那須と皇室のあゆみ」を開催します!

今年はその那須御用邸が設置されてから100周年を迎えます。

明治天皇の巡幸から那須御用邸の設置、皇室ゆかりの品々、朝鮮王朝に由来を持つ李王家と那須についてもご紹介し、那須町と皇室のあゆみを振り返ります。木戸孝允の書や柳原愛子(大正天皇実母)の短歌、侍従長を務めた入江相政氏の色紙などもあわせて展示しています。

▼会期 6月21日(日)まで

▼入館料 大人300円

※特別展料金となります

○講座「那須御用邸と新那須温泉」

(要予約先着順)

▼日時 5月10日(日)

午後1時30分〜3時

▼場所 文化センター小ホール

▼定員 30人

▼講師 高根沢広之氏

(那須塩原市文化財保護審議会会長)

○県立博物館市町連携事業移動講座

「那須御用邸内のレッドリストの

維管束植物」(要予約先着順)

▼日時 5月31日(日)

午後2時〜3時30分

▼場所 文化センター小ホール

▼定員 30人

▼講師 星直斗氏

(栃木県立博物館) ほか

○展示解説日

▼日時 6月21日(日)

午後2時〜3時

○無料入館日

▼日時 5月17日(日)・6月14日(日)

古文書や自治会資料の情報を提供ください

町の貴重な記録である江戸時代から昭和・平成時代にかけての古文書や自治会資料、日記や手紙や写真などを収集しています。

代替わりや引越し、空き家化で、貴重な資料が失われる可能性があります。「蔵にあるけど内容がわからない」などでも構いません。情報提供やご相談がありましたらご連絡ください。

タウントップニュース

子育て、ほげんだより

生涯学習だより

図書館だより

タウンInformation

カメラスケッチ

那須高校タイム

みんなの広場

無料相談会、消費の豆知識

カレンダー